

「留学終了報告書」

学部・学科: 国際学部国際学科東アジア専攻中国語コース

留学先大学: 大連理工大学(中国) (オンライン)

1、1月は4日から授業がスタートし、13・14日が期末テストだった為、授業日数は7日ととても少なかった。しかし諸事情でオンライン授業に参加出来ない日がほとんどで、多くの最終回授業を逃した。中国文化や映像鑑賞の授業は12月末に最後の授業があった。落ち着いた時に欠席した授業の動画を見て、勉強した。期末テストは2日間でかなりハードな日程だった。特に初日は閲読・作文・聴力のテストで、100分間受けて、10分休憩の後にまたテストを受けるのは辛かった。テストは唐風というサイト上で行われ、テストページを開くと時間が進み、遅めに開いてもその分の時間が進んでいる状態だった。2日目は総合と口語のテストだった。テスト自体は全体的に上手く行けたのでよかった。ただ100分でも時間が足りない問題数で、どのテストも時間が足りず強制終了となった。もっと時間があれば良い点数が取れたと思う。

2、今回は何よりも期末テストに参加出来て、課題を全て提出出来たことがよかった。テキストは本当に良いものだと思っているのでこれからも読み続けたい。

3、後輩へのアドバイス

まず、コロナ禍でもコロナが収まった後でもオンライン留学に参加できる環境があるならば、参加することをお勧めします。

大学1回生の後期から留学先現地で1年間の長期留学を経験しているので、オンライン留学中に「中国語を話す機会がないな」、「中国での生活を身をもって体験できていないな」と思う時もありました。しかし、オンライン留学をせずに近大で学生生活をするよりかは、中国語に触れる時間が圧倒的に増えました。新しく吸収したものを実際に日本で活かすことは無かったのですが、いつか、あの時勉強したことだと思い出す機会があることを信じています。私のカリキュラムには中国文化や中国映画鑑賞の授業があったので、日本にいながら中国の文化を学ぶことができ、映画から中国での流行、社会問題を学ぶことが出来ました。

他にも、オンライン留学を選択したことによって費用もかからず、日本でアルバイトをしながら生活費を稼げたのが良かったことです。場所を問わないので授業を受けられる環境であれば家を出て授業を受けることもできます。

実際、現地で留学しても部屋に籠って勉強する時間がある程度必要なので、オンライン留学で力をつけて、現地で発揮するのも1つの選択肢だと思います。やりたいことをやって大学生活を楽しんでください。